

9月7日(金)「来年に引き継ぐ反省会」開催

保護者会終了後、保護者有志9名と、副校長先生、渡邊先生、鈴木先生で、「はりぼて」の反省会を行いました。

感想

- ・ チーム制で3個の制作に取り組んだことで、全員が参加できてよかった。
- ・ 今年の大きさは、作りやすく運びやすい大きさでよかった。
- ・ 大人の小さな一言で、子供の創意工夫ややる気を引き出せることがわかった。

課題

- ・ 大人がどこまで手伝ったら良いのか? 難しい。
- ・ 今年は大人が手伝いすぎて、達成感がいまひとつだったかも。
- ・ 目入れは、子供もやりたい、との意見もあり。
- ・ 子供だけで完成は無理。予め親子の共同制作として取り組むのはどうか?

改善提案

- ・ 蚊対策が必要。(網戸、蚊取り線香、防虫剤)
- ・ 来年もランチルームで作業するなら、養生シートなど万全な対策が必要。
- ・ 講師の先生へ、はじめと終りの挨拶の徹底、名札の準備も大切では?
- ・ 搬入搬出の参加人数が不確定で不安。事前に保護者の参加受付をしては?
- ・ 手持ち無沙汰になったり、指示待ちの子供がいた。あらかじめ制作プロセスを写真で見せるなど、はじめて取り組む子供向けの教材開発をしては?
- ・ 来年の関係者へ申し送りするための「準備物一覧表」を作成しておく。

先生方から

- ・ 商店街のノウハウを受け継ぐ形として「マニュアル」的なものは必要。
- ・ 1学期終業式で全校児童に話すなど、毎年4年生が取り組む「杉七恒例行事」を上手にバトンタッチする方法、アイドル化対策なども来年は考えたい。

今年も担任の先生のご指導で、講師の方へ、子ども達からお礼状をお渡ししたそうです。このような「取り組み方」を含めて、杉七流の「はりぼて作り学習のノウハウ」が、年を追うごとに蓄積され、阿佐ヶ谷の小学校ならではの恒例授業として楽しく継続できると思います。はりぼて学習を継続するには、保護者の協力が「カギ」ではないでしょうか。

ニュース!

はりぼての消息

先日チラシが配布された「環境博覧会すぎなみ2007」(10月13日14日)で私達のはりぼて「いの七」と「七味唐辛子」の展示が決まりました! 再会のチャンスです!